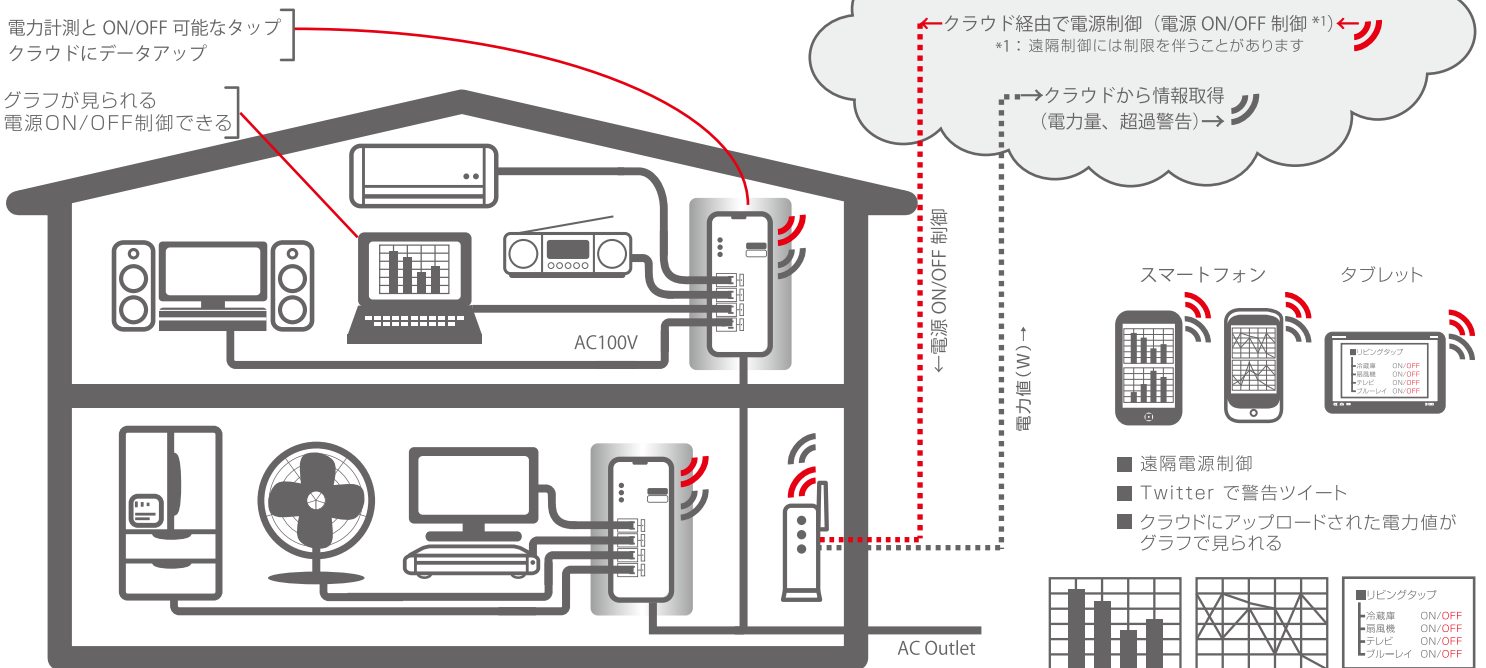


特長

- 電源タップに無線LAN機能を搭載、無線LANルーター経由でインターネットに簡単接続
- 電力使用状況をクラウドにアップロード、毎日の消費電力を見える化
- スマートフォンやタブレット、PCなどネットワーク経由でタップに接続された機器の電源を遠隔でON/OFF
- 電源タップの無線LAN接続設定はPC不要、ボタンひとつでかんたん設定

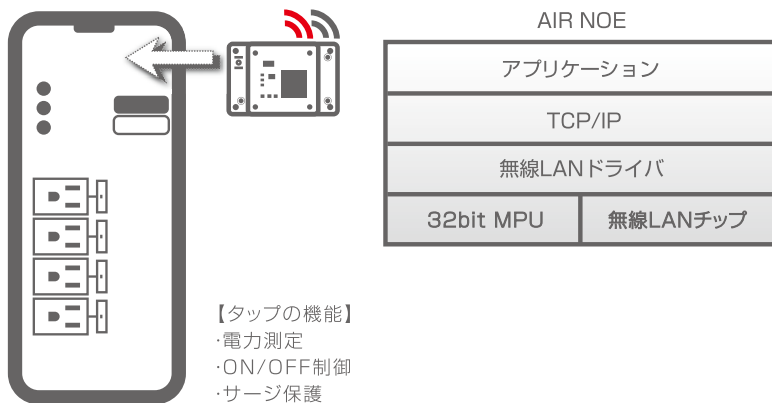
※本展示は、現在研究開発中の製品及びシステムであり、実際の販売及びサービス提供は現在検討中です。

ソリューションイメージ



- 電源タップがインターネットに接続したあと、クラウド側のサービスにPCやスマートフォンなどでログインし、簡単な登録処理を行うだけで、電力消費量の閲覧やタップの遠隔操作が可能
- タップは複数の登録が可能。消費電力量は各コンセント(電源の差し込み口)単位で表示、操作が可能
- Twitter連動やメール送信設定により、例えば電力消費量が電源タップの使用可能電力量超過時に警告を出すことが可能

電源タップの無線LAN対応システム構成



- 無線LAN部分は弊社の「Ubiquitous AIR NOE Solution」を搭載した無線LANモジュールを採用、電源タップの開発費を最小限に抑さえ、短期間で製品化が可能
- 無線LANモジュール側はカスタム開発が可能、例えばクラウドサービスと連携するシステムの追加開発が可能

デバイス+クラウドサービスの連携応用例

- Ubiquitous AIR NOE Solution 搭載 無線LANモジュールを既存システムに搭載することで、あらゆるものがクラウドへのデータアップロードやサービス連携、メール送受信などを実現することが可能
- 各種センサーシステム(例:温度センサー、湿度センサー、振動センサー、画像センサー)のデータをクラウドにアップロードし分析結果の表示や遠隔制御による連携が可能
- 無線LANモジュールとセンサーシステムとはシンプルなインターフェース(UART、SPI、SDIO)で接続可能
- 製品のネットワーク対応により、デバイスが貴社独自サービスに対応可能